



日本共産党千代田地区委員会 くらし・雇用相談室長
日本共産党千代田区議団 事務局長

こんにちは **牛尾こうじろう** です

耕二郎 2011年7月31日 第36号

ホームページ：「日本共産党牛尾こうじろう」で検索 住所：千代田区岩本町1-12-12-301 : 090-2406-7991
Eメール：k-ushio@beetle.ocn.ne.jp 事務所：千代田区神田東松下町33 : 3251-2952



7・9 パパママシンポの様子

パパママシンポ「原発事故と私たちのくらし」を開催。放射能への不安が相次ぎました。

7月9日、大妻大学名誉教授の池上幸江さんを講師に、パパママシンポ「原発事故と私たちのくらし」を開きました。十数名の子育て世代のみなさんに参加いただきました。ありがとうございました。

池上先生はスライドを使い、放射能とは何かから環境や食物への影響、私たちが当面気をつけること（別掲参照）までわか

りやすく説明しました。参加者からは「給食の材料が心配」「原乳は大丈夫なのか」など放射能の子どもへの影響を心配する質問が相次ぎました。

池上先生は、情報に振り回されずに継続的に見ていくことや行政などにしっかり測定させることを強調しました。また、「こうした深刻な事故を引き起こす原発は私は反対。大事なものは不安を抱えているみなさんが協力しあい、つながりを広げていくことです。お互いに頑張りましょう」と述べました。

みなさんから「また原発問題をやってほしい」「食べ物に過敏になっていったが精神的にも気持ち少し楽になった」などの感想が寄せられました。シンポは今後も続ける予定です。ぜひ、知りたい・聞きたいテーマなどありましたらお寄せ下さい。

当面気をつけること
飲用水：水道水は現在のところ問題ない。

野菜：野菜は良く洗う。キャベツなど結球野菜は外側の葉は捨てる。野菜はできるだけ生でなく水を使った過熱を。根菜やイモ類は当面心配ない。野菜は産地や種類など様々なものを使う。魚介類：当面は危険性はない。牛乳・乳製品：安全な地域で生産されたものを利用する。乳製品は神経質になる必要はない。牛肉は当面注視が必要

子ども縁日へ参加してきました

7月23日、出世不動通りでおこなわれた子ども縁日に家族で参加しました。



子ども縁日

過ごしやすいい気温とあつてか、たくさんのお子さんでにぎやかでした。

保育所の面積基準が引き下げられる危険 保育環境をまもる世論を広げましょう

厚生労働省は15日、保育所の待機児童問題への対応を理由に、2012年4月から3年間、一部自治体が独自に認可保育所の面積基準を設定することを認める方針を固めました。4月末の「地域主権改革」一括法の一環で、来年度は中央区や横浜市など都市部35市区が対象となります。保育所の面積については現在、0〜1歳のほふく（はいはいなど）をしない乳幼児が1人当たり1・65平方メートル、ほふくする乳幼児が同3・3平方メートルなどと、国が全国一律の最低基準を定めています。

面積基準を自治体の判断で引き下げれば、乳幼児のつめこみが進んで保育環境が悪化するうえ、自治体が保育所の増設努力をしなくなる恐れがあります。今回、千代田区は対象にはなっていますが今後、待機児の増加でどうなるかはわかりません。保育環境を悪くさせない世論と運動を広げていきましょう。



「特定緊急輸送道路」の指定沿道建物の耐震診断等が義務化されます

都は6月28日に「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」に基づき、震災時の救急救命活動の生命線の道路として「特定緊急輸送道路」を指定しました。

正以前に建築された、道路幅員のおおむね2分の1以上の高さがある、建物の耐震診断の実施が義務化されます。耐震診断が義務化された建築物は、耐震診断の実施費用のほぼ全額が助成（1万㎡超の建物は自己負担あり）され、耐震改修等の費用は助成制度を拡充します。助成内容等は、現在都と区で検討中です。

特定緊急輸送道路に指定された区内の道路
首都高速道路（区内全線）

- 目白通り = 区役所交差点 飯田橋駅付近
- 国道1号線（永代通り・日比谷通り・晴海通り・内堀通り・桜田通り） = 区内全線
- 国道4号線（昭和通り） = 区内全線
- 国道17号線（中央通りほか） = 区内全線
- 国道20号線（内堀通り・麹町大通り） = 区内全線
- 国道246号線（青山通り）点 特許庁交差点
- 蔵前橋通り = 区内全線 = 区内全線
- 国道246号線（平河町交差点 特許庁交差点）
- 蔵前橋通り = 区内全線

原発ゼロをめざす 「7・2緊急行動」 に参加しました

明治公園でおこなわれた「原発ゼロをめざす7・2緊急行動」に参加しました。会場は2万人を超える参加者で熱気があふれていました。

来賓あいさつで日本共産党の志位和夫委員長は、「（原発の）危険をなくす方法はただひとつ。原発をなくすしかない」「『原発からの撤退』の一点で力をあわせ、それを強く政府にせまっていこうじゃありませんか」と呼びかけました。

原発ゼロの世論を広げるため、今後とも「原発からの撤退を求め、署名にご協力下さい。」



7・2 緊急行動の様子